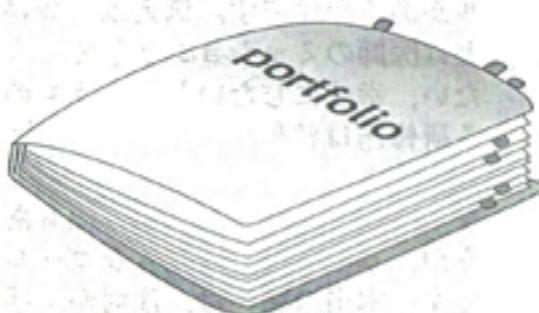




2003年7月21日  
第 2544号

## 週刊医学界新聞

特集

ポートフォリオで  
変わらる医学教育

すでに初等教育において脚光を浴びている「ポートフォリオ」を利用した教育・評価法が、医学教育でも注目されはじめている。日本におけるポートフォリオ提唱および実践の第一人者である未来教育デザイナー、鈴木敏恵氏と、すでに初期臨床研修にポートフォリオ評価を取り入れている臨床研修指導医、藤沼康樹氏の2人に、医学教育においてポートフォリオがどのような役割を担うのか、お話をうかがった。

## インタビュー①

## ■ポートフォリオを医療の“知とキャリア”に活かす!!

—鈴木敏恵氏（未来教育デザイナー）に聞く

プロジェクト学習は、  
「意志ある学び」をかなえる

—鈴木さんは現在、学校教育の場にプロジェクトの手法とポートフォリオの活用を両輪とする「未来教育プロジェクト学習」を提唱され注目を集めています。特にポートフォリオは、子どもの主体性を高め、意志を持ち学ぶという姿勢を引き出すのに効果的と言われ、今とても広がっています。

最近、この考え方方が医学の現場でも応用されつつあり、医学教育にポートフォリオを導入するという動きがあると聞きます。鈴木 私は建築家として自分のポートフォリオを持っていました。ポートフォリオとはそもそも建築家やジャーナリストなどが、これまでの仕事や活動の成果を自らの意志で1冊にファイルしたものを作ります。ポートフォリオを見ると、その人の個性や能力、潜在的素養、そしてボリシーや将来の可能性などを発見することができます。このようなファイルを「パーソナル・ポートフォリオ」と呼びます。もうひとつ、「テーマポートフォリオ」があります。自分のテーマに添い、その探究のプロセスに伴う設定目標や計画、手に入れた情報やデータ

## 今週号の主な内容

- 〔特集〕ポートフォリオで変わる医学教育（鈴木敏恵、藤沼康樹）……………1—3面
- 〔連載〕アメリカ代替医療見聞録（鶴岡優子、鶴岡浩樹）……………4面
- 〔連載〕続・アメリカ医療の光と影⑫（李啓充）……………5面
- 〔連載〕新医学教育学入門⑫（大西弘高）
- 〔医学生・研修医版〕マッチングがはじまる、他……………9—16面

## 今月の新刊

7 | 2003

●本紙で紹介の和書のご注文・お問い合わせは、お近くの医書専門店または医学書院販売部へ  
☎03-3817-5657(お客様担当) ☎03-3817-5650(書店様担当)  
●医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp>

急性期・慢性期のフォローアップ  
検査ガイド  
編集=北村 哲、大西 真、三田俊英  
B5 頁356 定価(本体2,000円+税)  
[ISBN 4-260-10286-9]

「燃えつきない」がん看護  
安達富美子、平山正実

NANDA-NOC-NIC の理解  
看護記録の電子カルテ化に向けて  
黒田裕子  
B5 頁176 定価(本体2,400円+税)  
[ISBN 4-260-33285-6]

困ったときの透析患者の看護  
編集=室田有希

ヒヤリ・ハット11,000事例による  
エラーマップ完全本  
川村治子  
A4 頁132 定価(本体2,800円+税)  
[ISBN 4-260-33289-9]

エビデンスに基づく看護学教育

週刊(毎週月曜日発行) 1950年4月14日第三種郵便物認可  
発行 株式会社医学書院 © 2003 shinbun@igaku-shoin.co.jp  
1113-87119 東京都文京区本郷5-24-3  
電話(03)3817-5694, 5695 FAX(03)3815-7850  
ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp>  
購読料 1部100円 1年5000円 振替00170-9-96693



●鈴木敏恵氏

千葉大講師、一级建築士。プロジェクト学習とポートフォリオ評価を両輪とする「未来教育」の第一人者。総務省次世代IT未来型教育研究会議委員などの公職も務める。著書に「こうだったのかポートフォリオ成長への戦略・思考スキルと評価手法」(学研)、他。鈴木氏のホームページ(<http://www.02-so-net.ne.jp/~s-toshie/>)では、未来教育をはじめとした氏の活動が詳しく紹介されている。さる7月12日には島根民医連医師委員会において「医師研修におけるポートフォリオ活用」の講演を行なった。

ても特に有効です。

研修医はともすれば目の前の仕事の忙しさに翻弄され、1日、1か月が過ぎてしまう。突発的な事態が次々に訪れる現場ではなおのことです。価値ある成果や経験知が気がつかぬうちに忙殺され、流れていきそうです。もちろん「モノ」や「記録」が残らなくとも、その経験は自分自身の中に残り、目に見えない成長をもたらしてくれるでしょう。しかし、その日にやったことや気づいたこと、書いた論文やレポートなど、価値ある軌跡を一元化しポートフォリオにしておくことをぜひ薦めたいとおもいます。なぜなら、自分を見つめ、より活かす明日を描くことにも有効だからです。「これまで」を見ると「これから」が見えてくるのです。

どうしても忙しいと「やりっぱなし」になりますが、しかしそれでも研修医であれば、治療や診療に関わりながらも自らが「成長」していくことも重要な使命であるはず。

(2面に続く)

- 研修目標
- 診察マニュアル
- 自分の研究記録
- 発表論文、寄稿
- 実習体験
- 自己評価表
- どんな患者さんを診てきたか歴
- 患者さんをどうやって診てきたかの記録
- 身についた手法や技術を書き出したもの
- 特殊な病例、興味深い所見
- 治療計画
- 有効だった治療法
- 有効だった診断法
- 患者の症状の課題リストアップ
- 患者とのコミュニケーション記録
- 自己研鑽歴がわかるもの
- 患者からの手紙・コメント
- 同僚や上級医との対話記録
- 患者さんからのアンケート類
- 研修中の有効な経験
- 自分なりの効果的な勉強ルール
- 診療器具をうまく使うスキル
- 資格一覧
- スキルや知識、経験を証明するもの、etc

●表 研修医ポートフォリオに入れるもの  
〔出典:「医学ポートフォリオ」(鈴木敏恵) <http://www.igaku-portfolio.net>〕

医学書院

## 今日の診療プレミアム Vol. 13

ハイブリッドDVD-ROM版  
●新規購読専用 DVD-ROM 定価(本体65,000円+税)  
[ISBN 4-260-19848-3]  
●連続購読専用 DVD-ROM 定価(本体35,000円+税)  
[ISBN 4-260-19849-1]